

# 開設に向けた流れ

「思いがあれば、子ども食堂や子どもの居場所はある」ともいわれますが、誰もが順調にできるわけではありません。そこで開設に向けた大まかな流れを、運営団体のみなさんの声からまとめました。



## STEP 1 始めてみたい、と思ったら

なぜ始めて  
みたいのか?  
考えてみる

▶ **自分の思いや考えを整理・確認することは大切です**  
なぜ他の取組ではなく、子ども食堂・子どもの居場所なのか？  
実際に開設した団体はそれを明確にしています。

▶ **まわりの人に、考えていることを話してみる**

まわりの人に話をすると質問が出て来ると思います。答えているうちに「なぜなのか」「どうしたら始められるか」具体的な姿が見えて来ましょう。

子ども食堂や  
子どもの居場所に  
参加してみる

▶ **いろいろな子ども食堂や子どもの居場所をのぞいてみましょう**

実際に利用してみると、新聞やテレビで見ていたことと、違うものが見えてくるかもしれません。まずは普通に利用して、一緒にご飯を食べたりしてみましょう。

その中で「この活動が好きだなあ」と思ったら、できればボランティアとして参加してみましょう。利用する側と運営する側でも見えることは変わってきます。そこで「思い」がさらに整理・具体化されるはずです。



## STEP 2 やっぱり子ども食堂や子どもの居場所を始めよう!と思ったら

一緒に運営できる  
仲間をさがす

▶ **一人でできることには限界があります**

仲間ができると、その友人、さらにその友人から力を借りることができます。

企画を考える

▶ **いつ、どこで、いくらで、どうやって**

仲間と一緒にやりたいこと、できることを考えてみると様々なアイデアが出ると思います。

できない理由でなく、できる手段がないか考えるようにしていくことで、「企画」が練り上げられていくはずですよ。



## STEP 3 第1回目開催に向けて準備をする!

### 企画書を作ってみましょう

企画書を持って地域の皆さんに相談しましょう

- ▶地域の学校や町内会、民生委員・児童委員さんなどに挨拶や相談をして、活動への理解を得ます
- ▶企画書と運営場所の様子がわかるものを持って、区の保健センターや保健所に相談します。

必要な保険には事前に入会しておきましょう

年間の収支計画をしっかりと立てましょう



～運営初日に向けて～

- ▶予算や収支を考え、利用料を決定
- ▶備品・消耗品を用意する
- ▶会場のレイアウトを決める
- ▶看板やチラシ、SNSなどを用意し、地域にお知らせする

### 企画書（例）

#### ◆目的・目標

- ・食事や学習、地域住民との交流などを通して子どもが安心して過ごせる居場所を作る
- ・地域全体で子どもたちを見守る環境を充実させる

#### ◆対象

18歳未満の地域の子どものみ及びその保護者

#### ◆場所・開催日・スケジュール

- ・場所 ○○会館（札幌市○区・・・・・・・・・・）
- ・開催日時：毎月第3○曜日 17時30分～20時
- ※開催日の前後には、前回の振り返りや次回に向けての打ち合わせを行います

#### ◆スタッフの役割分担

- ・食事係…○人
- ・受付係…○人 ……
- ※場が円滑に進むような工夫、設定を行います

#### ◆安全管理について

- ・○○○保険に加入済（食中毒、施設内での事故への補償）
- ・参加者名簿（日付・名前・電話番号・所属・食事・備考）、子ども食事カルテ（名前・所属・住所・緊急連絡先・アレルギー・好き・嫌いなもの）を作成
- ※緊急連絡先やアレルギー有無は事前に確認しておきましょう

#### ◆予算

- 【歳入】
- ・補助金：\_\_\_\_\_円
  - ・寄付：\_\_\_\_\_円
  - ・自己負担：\_\_\_\_\_円
- 【歳出】
- ・食材費：\_\_\_\_\_円（1開催\_\_\_\_\_円前後、1人\_\_\_\_\_円×\_\_\_\_\_人分）
  - ・物品購入費：\_\_\_\_\_円（マスク、アルコール等の衛生用品、食器、玩具等）
  - ・会場費：\_\_\_\_\_円（\_\_\_\_\_円/1回）
  - ・普及啓発費（チラシ作成）：\_\_\_\_\_円（\_\_\_\_\_円×\_\_\_\_\_回）
  - ・保険料：年間\_\_\_\_\_円



## STEP 4 第1回目が終了したら

### 第2回目以降に向けて

- ▶第1回目終了後に、できるだけ早く「ふりかえり」を行います
  - ・よかったことや、課題・問題を整理して、次回以降に活かします。
  - ・アンケートを集め、結果をまとめてスタッフや地域の方にお知らせします。
- ▶チラシやSNSなどで第1回目の報告を行い、地域のみなさんにお礼を伝え、第2回目に向けた準備を始めます
- ▶人手不足のときは、参加いただいた地域の方々をボランティアにお誘いしてみてもいいかもしれません

こども食堂北海道ネットワークでは、立ち上げ相談を行っていますので、お気軽にお問合せください。 <https://ks-hokkaido.net>

